

Fleur de soleil

フルール・デ・ソレイユ：フランス語で太陽の花“ひまわり”を意味します



ひまわり 歯科

〒940-0864 新潟県長岡市川崎2-2478-1
TEL : 0258-37-7778 / FAX : 0258-37-7775

当院のホームページが新しくなりました。▶ [HPアドレス http://himawari-dental.jp](http://himawari-dental.jp)

院長挨拶

夏のおとずれを感じます。

私は、アイスコーヒーが美味しくなると、「夏が来たな～」と思います。

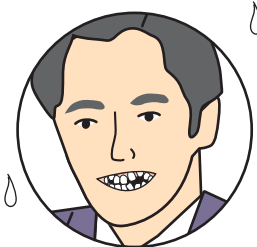
さて、今年の夏の選挙から、日本史上初めて「インターネット選挙」が始まります。ここで、立候補者（もちろん我々にも）にとって、大切なことは何でしょうか？

それは、インターネットの即時性や記録性を考えた場合に、立候補者が「いかに感じのよい顔を作るか」ではないかと思われまます。私たちは立候補者が語る言葉だけではなく、話をしている時の表情・態度などを見て、評価・判断をしています。つまり、全体の雰囲気から「この立候補者は信頼できそうだ」といった印象を抱いているわけです。

ニコッ！→当選



二～→落選



さらに、見た目の情報の中でも「口もと」から伝わる情報が大切なことは、周知の通りです。（この人の言うことが、正しい、ウソ、好き、キライなどを、判断します。）したがって、インターネット選挙が普及すればするほど、「口もと」を意識して、感じのよさをアピールする立候補者に、票が集まる可能性が高くなると私は考えます。

以上のことを皆様に当てはめた時に、「口もと」の安心が、ご自身の自信につながり、「口もと」の不安が、ご自身のためらい、劣等感になっていることは、ございませんでしょうか？思い当たる方が、いらっしゃいましたら、ご相談ください。一緒に考えましょう。

ちなみに私の場合、1998年3月にひまわり歯科を開業前から、自分の歯並びに劣等感がありました。（受け口：反対咬合）電話時の発音を何度も聞き返されたり、歯を見せて笑うことに抵抗がありました。そこで、思い切って、開業前に矯正治療に取り組み、今では、歯を見せて笑って、写真を撮ることが、できるようになりました。「口もと」一つの対応で、人生が前向きに変わることを感じた一例でしょうか。

院長 北沢 敦



口腔内ケアの話



「歯が無い人の口腔内ケアは、必要でしょうか？」

先日、訪問診療時に、ご家族の方から、上記の質問がありました。皆さんは、どのように理解されていますでしょうか？

私は、「必要です。」と答えました。



ぜひ！



(チューブを使って栄養をとっているので[経管栄養])

「口の中に食べ物が入らないんだから、汚れないんじゃないの？」と、ご家族は考えておられました。

しかし、経管栄養になると唾液が分泌されないで、口の中の汚れが流れないので、口から食べない人でも頬粘膜、舌などから古い細胞の死骸が溜まり、そこには1gあたり1000億以上の細菌が付着しています。ですから、口臭もすごくきつくなります。唾液には、その汚れを流す役割があるのです。さらに、唾液は細菌で酸性になった口中を中性に戻す役割もあります。ですから、歯が無くても唾液を増やすために、口腔ケアが必要なのです。



あらためて、口腔内ケアの目的には、口の中を清潔に保つだけでなく、唾液分泌を盛んにする目的もあることをご理解いただければと思います。

良かったね～

